



ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和5年10月24日 発行者 校長 柴山 敬

- 自らすすんで学ぶ子ども
- 互いを認め合い自分と相手を大切にする子ども
- 健康や安全に気を付ける子ども

「感動」を再び

学習発表会で主体的な学びの成果を

10月27日（金）に開催する学習発表会に向けて、テーマ「伝えよう 北栄っ子の創る感動を！」のもと、子供たちは日ごろの学習で身に付けた力を発揮しようと練習に励んでいます。

1学期の開校 70 周年を記念する大運動会では、どの学級も団結力を発揮し、保護者や地域の方々とともに皆で感動を分かち合うことができました。今回は「団結力」に併せて、「主体性」を意識して取り組んでいます。ここでいう「主体性」とは、学習発表会の取組を自分事としてとらえ、自らの意志でしっかり行動すること。発表を通じて子供たちが「感動」を届けたいという気持ちの中にはこうした考えがあるのだと思っています。

コロナ禍明け初の学習発表会。当日、保護者の皆様にはお子様の学年発表に合せて会場を入替制でご参観いただきます。歌やダンス、演奏、朗読劇など、子供たちが主体的に取り組んできた姿をぜひご覧ください。そして再び「感動」を…。

「決心」して「踏み出す」

後期の児童会活動始まる

10月19日（木）に後期児童会役員認証式と児童総会を行いました。新役員で臨んだ総会は、提案する側と質問・意見する側との質疑に緊張感があり、真剣そのもの。各委員会で活動計画を考え・まとめ、各学級でその計画案について協議したことを伝え合い、どの意見も学校全体のことを



日	曜	11月の行事予定
1	水	ALT（4・6年） Sアップ
2	木	ALT（3・5年） 読み聞かせ（2年） PTA ミニバレー大会
8	水	租税教室（6年：3・4校時） ALT（5・6年） Sアップ
9	木	Sアップ 読み聞かせ（1年）
10	金	クラブ⑥ ALT（5・6年）
11	土	北栄げんきクラブ
14	火	おび学（認知症：5年）
16	木	おび学（手話：6年） Sアップ 読み聞かせ（3年）
19	日	市P連研究大会
20	月	参観日（4,6年） にじいろタイム⑤ 給食費納入（低学年）
21	火	参観日（1,5年） 給食費納入（高学年）
22	水	Sアップ 給食費（予備日）
24	金	参観日（2,3年）
27	月	給食費自動振込日
28	火	おび学（アイヌ文化：4年） ALT（3・6年）
29	水	ALT（4・5年） Sアップ
30	木	新入学児健診（1～4年：3校時まで） 読み聞かせ（2年） PTA会費納入日（低学年）

考えたもので、大変頼もしいものでした。

後期はここが出発点。2学期の始業式で全校児童に「一步踏み出し行動しよう!」と呼びかけましたが、ここではさらに「決心」して踏み出すことを加えました。「決心」することは課題にしっかり向き合おうとする姿勢であり、その上で解決に向けて挑戦することを願ってのことでした。こうしたことを意識することによって、精一杯取り組んだ結果が成功しても、そうでなくても自分の自信につながるものであり、これから先の様々な困難に立ち向かえる勇気と力を身に付けることができると確信しています。

すべての児童が「決心」して「踏み出す」ことを切に願っています。保護者や地域の皆様には、引き続き子供たちに対して激励やアドバイスなどをお願いいたします。

「ファン・ランニング」 「うらほろマラソン」完走を目指して!

10月8日(日)に浦幌町で開催された「うらほろマラソン 2023」に本校児童 31 名が参加しました。本校のコミュニティ・スクール(CS)主催の「ファン・ランニング」の取組として参加したものです。この企画は、本校の体力向上の取組の一環として、児童がマラソン大会出場を目標に持久力や基礎体力を養うとともに、地域の関係者とのふれあいを通じて身体を動かすことの心地よさを実感することをねらいとしたものでした。



マラソン大会出場にあたっては、元オリンピックスピードスケート日本代表選手の石澤志穂さんを講師に迎え、本校を会場に2回の練習機会を

設けました。9月30日(土)と10月7日(土)の両日、石澤さんが監督を務める帯広大谷短期大学スケート部で取り入れているトレーニングメニューを小学生でも取り組めるようにアレンジし、全身ストレッチをはじめ、体育座りから立ち上がって走る反応系を意識した運動や体幹を鍛えるトレーニングのほか、学校の周辺を2~3周走る練習をしました。

練習に参加した子供たちは、最初は経験したことのない動きに少し戸惑っていましたが、しばらくすると石澤先生のペースにしっかりついて行けるようになり、すべての練習を笑顔で終えることができました。



また、「うらほろマラソン 2023」では、子供たちは自分で選択した1 km・2 kmのコースに出場し、全員が完走しました。それぞれが決めた目標に挑戦し、達成できたことに子供たちは満足そうにしていました。子供たちには自分で決めたことに「一步踏み出すこと」、そして自分の健康を自分でつくる意識をもってもらえたならうれしく思います。

今回の取組で心強かったのは、地域や保護者の方々の事業への参画でした。事業の運営はもとより、練習の準備や補助、大会の引率や運営補助などに携わっていただき、中には一緒に練習に参加してくださる方もいました。無事に本事業を終えることができたのは、関係の皆様のご支援のおかげによるものと感謝しています。本当にありがとうございました。